

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和2年12月25日
 独立行政法人福祉医療機構
 経営サポートセンター長 佐藤 肇
 経営サポートセンター
 チーフリサーチアドバイザー 本地 央明
 担当 内記・橘 (電話) 03-3438-9932
 (FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（2020年12月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2020年12月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ (<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>) に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 563 法人
- 調査事項：社会福祉法人および特別養護老人ホームの業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響
- 回答数：438
- 有効回答数：438
- 有効回答率：77.8%
- 実施期間：2020年11月24日（火）～2020年12月14日（月）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況判断のDIは、前回調査とほぼ同水準の、△1となった。
- サービス活動収益のDIは、前回調査から1%ポイント低下し、△11となった。
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、△14となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から3%ポイント上昇し、13となった。
- 資金繰りのDIは、前回調査から2%ポイント上昇し、△5となった。
- 従業員数のDIは、前回調査とほぼ同水準の、△61となった。

【特別養護老人ホームの動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、△9となった。
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査から2%ポイント上昇し、△10となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から5%ポイント上昇し、15となった。
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査から1%ポイント上昇し、△54となった。
- 介護職員の確保のDIは、前回調査とほぼ同水準の、△80となった。
- 人件費のDIは、前回調査から6%ポイント低下し、39となった。
- 稼働率のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、△11となった。
- 他施設との競合のDIは、前回調査から3%ポイント低下し、△31となった。
- 待機者のDIは、前回調査から1%ポイント低下し、△20となった。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

- 直近（10月実績）のサービス活動収益は、前年同期比で増収となった施設が16.2%、減収となった施設が21.7%となり、4月以降と比較すると回復傾向がみられた。一方、11月見込については減収すると回答した施設の割合が増加していた。
- 上半期（4～9月）のサービス活動収益は増収施設23.7%、減収施設28.8%であった。このうち、併設サービスの状況は、短期入所収益は増収施設15.7%、減収施設43.8%、通所収益は増収15.1%、減収53.1%であった。
- 上半期（4～9月）の一施設あたりの利用率が95.0%（前年同月比+0.3Pt）となった一方、併設の短期入所や通所介護の利用率は低下した。

以上